



初優勝したFCセダック

セダックが初優勝

市民タイムス少年サッカー 豊科南 3位に

第二十二回市民タイムス少年サッカー新人戦・市を下して初優勝した。セダックの鈴木夢都選手が最優秀選手賞、長野カラス、松本市サッカーが優秀選手賞、長野カラスの村田圭太朗選手が優秀選手賞に選ばれた。

冷たい風が吹き付ける中、選手たちは鮮やかな緑の芝生のグラウンドではつらつとプレーした。

試合が十八日、松本市の総合球技場・アルウィンで行われた。決勝はセダック(松本市)が5

トーナメントを勝ち上が

つてきたチームだけに、前後半40分で決着がつかずにPK戦にもつれ込んだ。

▽決勝

セダック 5 (4-0) 長野カラス 1 (0-0)

【評】セダックはボールに対する動き出しの速さで長野カラスを圧倒し

だり1点を争うゲームになったりと、白熱した試合が展開された。3位決定戦は豊科南(安曇野市)が2-1で諏訪(諏訪市)を破った。

準々決勝で敗れたチームによるフレンドリーマッチ2試合も行われた。

た。先制は前半5分。相手ボールを奪ったFW青柳が、GKの頭上を越す技ありのシュートを決めた。その後も攻撃の手を緩めず、12分からの6分間で青柳、MF宮沢、M

で行われた。小学六年生九人が参加して町会内にある観音堂をお参りした後、公民館前に設けられたやぐらの上から元気よく団子や菓子、五円玉などを投げた。

用意された団子三十分、四千二百個を集ま

F鈴木が立て続けにゴールネットを揺らした。攻守のバランスも上回り、相手にほとんど攻撃機会を与えず零封した。

【関連記事13面に】